

# 特定保健用食品(トクホ)

国連が推進するSDGsの目標3は「すべての人に健康と福祉を」③。特定保健用食品公正取引協議会が発表したトクホの「公正マーク」は12月下旬から使用可。



## パネルディスカッション① 公正マーク誕生、信頼向上へ

**阿南** トクホ表示で公正競争規約が認定された。下田 公正競争規約の導入は私が日本健康・栄養食品協会理事長たった8年前からの課題。消費者の信頼を得て、認知度が高まること

が最重要だ。昨今はトクホの申請件数が1桁台になっており、申請企業の増加、健康食品輸出への効果も期待している。

**浦郷** 新しい公正マークはインパクトがあり、効果カテゴリーが簡潔に書かれることで目的に合わせて選びやすくなる。今後は公正の意味合いも消費者に伝えていく必要がある。津金 当社のトクホ製品はキシリトールガムやオーラテクトガム。キシリトールブランドは「むし歯のない社会へ」を理念として掲げている。「むし歯の原因にならない甘味料を使用」「歯の再石灰化を増強するキシリトール、フクロノリ抽出物などを配合」していることが許可表示だ。浦郷 健康寿命を延ばすためにトクホを活用することを、使い方も含めて一層周知していくことが必要だ。津金 食と健康の関連で述べるなら、しっかり噛むことも重要であり、積極的に研究発信している。



- **パネリスト**  
特定保健用食品公正取引協議会 会長 **下田 智久氏**  
消費者庁 審議官 **片桐 一幸氏**  
全国消費者団体連絡会 事務局長 **浦郷 由季氏**  
ロツテ 中央研究所 研究企画課 課長 **津金 貴則氏**
- **モデレーター**  
消費者市民社会をつくる会 理事長 **阿南 久氏**

一方、健康食品には事業者の責任で科学的根拠を基に商品パッケージに機能性を表示する機能性表示食品もある。こちらのメーカーには中小企業も多く、まずは組織化し、行政とのつながりを深める必要がある。私としては、機能性表示食品メーカーにも日健栄協に参加してほしい。

**片桐** 独占禁止法の側面から公正競争規約についてみると、社会的信頼の向上、コンプライアンスの強化、自主的なルールの運用などが期待できる。適用除外性が認められることで、事業者が安心して活動に取り組み、ひいてはエビデンスのある商品を消費者が適切に選択できる。

**浦郷** 健康食品には事業者の責任で科学的根拠を基に商品パッケージに機能性を表示する機能性表示食品もある。こちらのメーカーには中小企業も多く、まずは組織化し、行政とのつながりを深める必要がある。私としては、機能性表示食品メーカーにも日健栄協に参加してほしい。

## パネルディスカッション② 健康増進に重要な役割

国民の健康増進のため、今後トクホをどう位置付けていくのか。

生活の中で特定の保健用途が自分に見合うのかという専門家の評価が重要だ。血圧が高めの人に適した表示には関与成分が5つあり、全て作用が違ふ。消費者がトクホの機能をよく理解して、食生活を見直すきっかけとなることが重要だ。

**大森** 「明治フルガリア ヨーグルト」は1996年にトクホを取得。日本の食生活に定着し、お腹の調子を整える食品としての地位を確立した。基本は毎日の健康な食生活であり、その上で科学的根拠を持つトクホを体調に合わせて選ぶことが大切だ。公正マークや疾病リスク低減の表示をすることは大事な取り組みであり、食育活動や店頭でのアピールなどを通じて認知拡大に協力していきたい。

**浦郷** 健康食品には事業者の責任で科学的根拠を基に商品パッケージに機能性を表示する機能性表示食品もある。こちらのメーカーには中小企業も多く、まずは組織化し、行政とのつながりを深める必要がある。私としては、機能性表示食品メーカーにも日健栄協に参加してほしい。

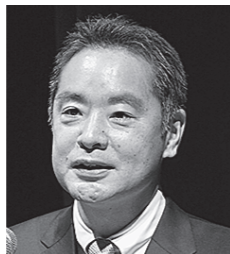
矢島 まずは公正マークの普及啓発が大事だ。トクホは科学的エビデンスに基づいて国が審査・許可しており、疾病リスク低減に資するということを協会としてもPRしていく。

**田中** トクホを利用するには、生活習慣や食生活の中で特定の保健用途が自分に見合うのかという専門家の評価が重要だ。血圧が高めの人に適した表示には関与成分が5つあり、全て作用が違ふ。消費者がトクホの機能をよく理解して、食生活を見直すきっかけとなることが重要だ。

**小林** 当社のトクホ商品は「ナチュレ恵 megu mi」「毎日骨ケア M B P@」など5品目。長年の研究により、独自の素材を生かしたトクホ商品を開発提供してきた。トクホは日本で確立され、世界で注目されている制度。公正マークによって各々の保健機能が伝わりやすくなる。われわれ企業も普及啓発に努めていく。店頭で保健機能のマークごとに選べるコーナーがあると消費者も手取りやすいのではないかと。

**大森** 健康は一日にしてならず。トクホは継続して毎日食べることが非常に重要だ。そのための食べやすさやおいしさも、メーカーとして探究していく。

### 挨拶



内閣府特命担当大臣(消費者および食品安全担当) **井上 信治氏**

## 公正規約認定、普及に力

今夏、特定保健用食品(トクホ)の表示に関する公正競争規約が施行され、特定保健用食品公正取引協議会(会員30社・団体)が発足した。公正競争規約とは業界の自主ルールでありトクホ制度の実効性向上に意義深い。人生100年時代を迎えて食品の持つ健康増進に関する機能への関心が高まっており、エビデンスを有する食品として国の許可を受けたトクホへの期待は大きい。しかし、残念ながらトクホに対する消費者の認知度は30%程度にとどまっており、認知度を高めることが課題だ。消費者庁としては協議会とも連携をし、消費者への積極的な普及啓発や理解促進を図っていく。



- **パネリスト**  
日本健康・栄養食品協会 理事長 **矢島 鉄也氏**  
東京家政学院大学 人間栄養学部 学部長 **田中 弘之氏**  
明治 開発本部 発酵開発部 部長 **大森 敏弘氏**  
雪印メグミルク 執行役員 ミルクサイエンス研究所長 **小林 敏也氏**
- **モデレーター**  
日本経済新聞社 編集委員 **田中 陽**

**浦郷** 新しい公正マークはインパクトがあり、効果カテゴリーが簡潔に書かれることで目的に合わせて選びやすくなる。今後は公正の意味合いも消費者に伝えていく必要がある。津金 当社のトクホ製品はキシリトールガムやオーラテクトガム。キシリトールブランドは「むし歯のない社会へ」を理念として掲げている。「むし歯の原因にならない甘味料を使用」「歯の再石灰化を増強するキシリトール、フクロノリ抽出物などを配合」していることが許可表示だ。浦郷 健康寿命を延ばすためにトクホを活用することを、使い方も含めて一層周知していくことが必要だ。津金 食と健康の関連で述べるなら、しっかり噛むことも重要であり、積極的に研究発信している。

この特集は日経チャンネルからもご覧いただけます。



日経チャンネル

<https://channel.nikkei.co.jp/e/tokuho2020>